

第 15 回 住宅系 研究報告会

＜主催＞都市計画委員会・農村計画委員会・建築計画委員会・建築社会システム委員会

住宅・住宅系まちづくりのテーマは、建築社会システム・建築計画・都市計画・農村計画などで取り上げられ、大会では毎年多くの論文が発表されています。昨年度に引き続き、横断的な発表・討論の場を設定し、研究成果の共有、研究者間の交流を続けるため、第15回目の住宅系研究報告会を開催します。

報告会では発表・討論の機会を重視し、司会とは別にコメンテーターを設け、意見交換や議論を通してさらに研究や活動が発展することを意図しています。第一日目にパネルディスカッションを開催し、総合的な議論の機会を設けます。

期 日:2020年12月4日(金)・5日(土)

会 場:オンライン開催(Zoom)

参加費:会員3,000円、会員外4,000円、学生1,500円

資料別売 会員:5,000円(送料込み)

会員外:5,000+700円(700円は送料)

※なお、資料は報告会終了後、建築書店で購入できます。

定 員:70名(申込先着順)

申込方法:オンライン開催のため、Webによる要事前申込

申込締切:11月26日(木)

<https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=637410>

支払方法:クレジットカード決済のみ

※領収書は「クレジットの振り込み明細」とさせていただきます。領収書が必要な場合は、「お申し込み受付完了通知メール」を印刷のうえ、「領収書希望」と明記し、返信用封筒(84円切手貼付、宛名記入)と併せて下記の送付先までお送りください。折り返し12月2日以降に領収書をお送りします。宛名は勤務先名とさせていただきますが、ほかに宛名の指定がある場合は、その旨あわせて明記してください。

【送付先】〒108-8414 東京都港区芝5丁目26番20号

日本建築学会「第15回住宅系研究報告会」係

アクセス方法:開催日前までにメールでお知らせいたします。

Zoomを最新バージョンに更新してご参加ください。

建築 CPD:12月4日【6単位】、12月5日【4単位】

問合せ:住宅系研究報告会 jyutakukei@aij.or.jp

住宅系研究報告会 HP:<http://news-sv.aij.or.jp/jyutakukei/>

オンライン参加される方への注意事項

- (1)お申し込み後の返金は一切いたしかねますのであらかじめご了承ください。受信側のPC・タブレットの障害やインターネット回線の障害により接続不良が生じた場合でも、返金はいたしませんのでご了承ください。
- (2)Zoom公式サイトでテスト接続が可能です。お申し込み前に必ずテストをしてください。◆Zoom接続テストページ <https://zoom.us/test>
- (3)接続に関してご不明なことはZoomヘルプセンター等でご確認ください。接続方法についてのご相談はお受けいたしかねます。◆Zoomヘルプセンター <https://support.zoom.us/hc/ja>
- (4)個人単位でお申し込み下さい。1人のお申し込みにより複数人で視聴したり、参加用URLをシェアしたりすることは固くお断りいたします。
- (5)開催30分前から入室を可能にしますので、当日は早めに接続して音声・映像等がきちんと流れるか確認されることを推奨します。
- (6)スクリーンショットや録音・録画はご遠慮ください。

パネルディスカッション(12月4日(金)15:00~17:00)

「新しい生活様式時代における住環境の現在と未来」

COVID-19感染拡大による影響が続く現在において、私たちの住環境はどのように変化し、これからどのように変化していくのか。刻々と変化していく状況の中で住宅系研究報告会としては住環境に焦点をあて、現在について広く把握していくとともにみなさんと未来について議論を行いたいと思います。

今回のPDはⅡ部構成としており、Ⅰ部では、「ごちゃまぜ」をキーワードに活動してきた輪島カブールの現在についての報告、そして都市計画、農村計画、建築計画、建築社会システムの4委員会に所属する幹事メンバーからみる住環境の現在についての議論を通じて、COVID-19による住環境の変化を広く知る機会とします。Ⅱ部では、Ⅰ部での議論を踏まえ、今後の展望について聴講者のみなさんを交えて議論していくことで、これからの住宅系研究のキーワードを見出す機会とします。

未知なことが多いテーマではありますが、住宅系研究者のみなさんがみている現在と未来を共有する場とすることでこれからの住宅系研究の1つの契機となればと思います。

パネラー:松尾信一郎(株式会社五井建築研究所)

コメンテーター:住宅系研究報告会4委員会運営幹事(建築計画、都市計画、建築社会システム、農村計画)

企画・コーディネーター:平田隆行(和歌山大学)、三笠友洋(西日本工業大学)、友淵貴之(宮城大学)

(パネルディスカッション:手話通訳付き)

＜プログラム＞

(発表時間10分・質疑応答5分、コメンテーターによる講評15分、○印は発表者)

1日目 12月4日(金)

開会の挨拶(10:00~10:10)

山口秀文(神戸大学)

セッション1 住宅の利用と管理(10:10~11:10)

司会:関川華(近畿大学)、副司会:深井祐紘(明星大学)

コメンテーター:鈴木雅之(千葉大学)

- 1.(報告区分1)個人所有重文民家の日常管理の現状—重文民家の持続的な保全と継承に向けての調査研究—
○確田智子(大阪教育大学)、植松清志、栗本康代、大野敏、中尾七重
 - 2.(報告区分1)非居住住宅の利用管理実態と所有者の意向—和歌山県海草郡紀美野町を対象として—
○縄田諒(和歌山大学)、佐藤孝志、平田隆行
 - 3.(報告区分1)二世帯同居家族における暮らしの実態と意識に関する調査—親世帯と子世帯の適切な距離感と住まいについて—
○平岡千穂(積水ハウス株式会社住生活研究所)、近藤雅之、彌重功、伊丹絵美子
- セッション2 郊外住宅地の居住・土地利用の変遷(11:20~12:20)
- 司会:益尾孝祐(愛知工業大学)、副司会:山口秀文(神戸大学)
- コメンテーター:松浦健治郎(千葉大学)
- 4.(報告区分1)郊外住宅団地における居住者の居住実態に基づく将来人口推計—福井市A団地を事例として—
○石井信高(福井大学大学院)、菊地吉信
 - 5.(報告区分1)八王子市めじろ台地区を対象とした入居年代ごとにした居住世帯の変化に関する研究
○今田翔子(東京大学)、李鎔根、深井祐紘、大月敏雄

6. (報告区分1) 中国瀋陽・都市近郊農村における企業の農業参入と土地の継続的利用に関する考察－瀋陽市尹家街道の尹家集落を対象に－

○張然(神戸大学)、山崎寿一、山口秀文

セッション3 災害後の生活課題(13:20～14:50)

司会:三笠友洋(西日本工業大学)、副司会:平田隆行(和歌山大学)

コメンテーター:齋藤雪彦(千葉大学)

7. (報告区分1) 遠隔地避難後の住まいの確保に関する課題の抽出－東日本大震災後の盛岡市を対象として－
○須沢菜(東京大学)、大月敏雄、外柳万里、新井信幸、李鎔根、井本佐保里
8. (報告区分2) インドネシア災害被災地における復元模型を用いた生活空間の保存に関する研究－2010年メラピ山火山噴火被災地を対象として－
○向上沙希(神戸大学)、槻橋修
9. (報告区分1) 被災地における小学生の通学路及び通学支援の実態に関する研究－益城町立益城中央小学校を対象として－
○鄭一止(熊本県立大学)、窪田亜矢
10. (報告区分1) COVID-19対策下の生活行動の変容にみる漁村集落の領域感覚に関する考察－宮城県気仙沼市大沢地区をケースステディとして－
○友淵貴之(宮城大学)、野田満、青木佳子、下田元毅
11. (報告区分1) 漁村における生活行動・交流の変化にみる領域感覚に関する考察－COVID19対策に伴う緊急事態宣言前後の和歌山市加太地区に着目して－
○青木佳子(東京大学)、下田元毅、友淵貴之、野田満

2日目 12月5日(土)

セッション4 空き家・遊休空間の活用(10:00～11:00)

司会:山口秀文(神戸大学)、副司会:益尾孝祐(愛知工業大学)

コメンテーター:内田奈芳美(埼玉大学)

12. (報告区分2) 郊外立地の大学周辺における空き家・空き住戸問題の実態と発生・拡大を予防する空き家活用策の検討
○西野雄一郎(大阪市立大学)、池添昌幸
13. (報告区分1) Vacant House Management and Homecoming Behavior of Owners in Mountainous Areas - A Case Study in Kanna Town, Gunma Prefecture-
○SAITO Yukihiko(Chiba University)、CHENG Yumeng
14. (報告区分1) 公的な集合住宅団地における遊休空間の活用による地域交流の促進に関する研究-広島市基町住宅地区の基町プロジェクトを事例に-

○頼俊仰(日本工業大学)、佐々木誠

セッション5 移住と住まい(11:10～12:10)

司会:渡邊史郎(国土技術政策総合研究所)、

副司会:梅本舞子(筑波技術大学)

コメンテーター:山本幸子(筑波大学)

15. (報告区分1) 開墾地移住奨励制度による移住家屋・共同建造物の実態と農村生活改善像
○野村渉(東海大学)、小沢朝江、長田城治
16. (報告区分1) 中山間地域における移住者の生活空間と接客の場について－佐賀市富士町・三瀬村を対象として－
○朴宰燁(佐賀大学)、後藤隆太郎
17. (報告区分1) 石垣島白保集落における地場石材を用いた集落景観形成－在来住民とIターン者の動向に着目して－
○瀬戸口由佳(神戸大学)、上村真仁、山口秀文、山崎寿一

セッション6 地域における福祉施設の運営と利用(13:10～14:10)

司会:前田昌弘(京都府立大学)、副司会:宮原真美子(佐賀大学)

コメンテーター:藤岡泰寛(横浜国立大学)

18. (報告区分1) 多世代の集り共用空間における利用実態－はっぴーの家ろっけんを事例として－
○清水紗英(神戸大学)、山崎寿一、山口秀文
19. (報告区分1) 複合型福祉施設の異なる属性間での交流実態と建築設計・施設運営との関わりに関する考察-「輪島 KABULET」プロジェクトを事例として-
○笠川睦(神戸大学)、山崎寿一、山口秀文

20. (報告区分1) 重度肢体不自由者向け住まいにおける建築特性別に見た運営の特徴及び課題に関する研究

○山田義文(日本大学)

セッション7 設計手法と評価(14:20～15:20)

司会:小山雄資(鹿児島大学)、

副司会:内海康也(国土技術政策総合研究所)

コメンテーター:長谷川洋(国土技術政策総合研究所)

21. (報告区分3) PFI活用型の公営住宅等整備手法の分類に関する研究
○齋藤隆太郎(東京大学)、大月敏雄
22. (報告区分1) 災害市街地復興の地域拠点施設設計における多様な利用者間の迅速な意見調整を実現する参加型設計手法の考察－オランダ・ルームビーク地区災害復興における参加ユーザーの竣工後の評価に着目して－
○鄭弼溶(神戸大学)
23. (報告区分1) 不動産データに基づく東京都23区に分譲マンション建替えの判別

○太田英輝(筑波大学)、花里俊廣

閉会の挨拶(15:10～15:20)

平田隆行(和歌山大学)